

# なぎなた協会

昭和 61 年(1986 年)創立

## 【なぎなた競技とは】

なぎなたが古くは武具として、また江戸時代には武家の女性のたしなみとして普及していたことは広く知られているところですが、スポーツとしてのなぎなた競技は、昭和 30 年（1955 年）に「全日本なぎなた連盟」が発足して、スタートしました。基本的動作や形は、当時日本各地にあった古武道としてのなぎなたの各流派の特徴や長所を取り入れ、その時新たに制定されたものです。

なぎなた競技には、①演技競技（二人一組で指定された形を行い、二組でその演技を競うもの。）②試合競技（防具を付け所定の部位への打突を競うもの。）の 2 種類があります。

## 【茅ヶ崎のなぎなた競技】

茅ヶ崎なぎなた協会は、昭和 61 年（1986 年）に発足し、平成 22 年（2010 年）に 25 年目を迎えます。この間、指導者として山本操先生、橋本由紀子先生をお迎えし、週 1 回土曜日の練習を続けてきました。また、茅ヶ崎小学校や総合体育館の個人開放事業を利用して自主練習にも積極的に取り組んでいます。年 1 回の大会開催のほか、県連盟主催の審査会

（年 2 回）、県大会や各種行事への参加（選手・役員の派遣）、近隣協会との交流などが主な活動内容です。とくに、平成 10 年（1998 年）に開催された「かながわ・ゆめ国体」では、協会として速報を担当し、牽引全員で数多くの研修をこなして、国体成功の一端を担うことができました。

その他、なぎなた競技の普及を目的として、市民の方を対象に年 4 日間程度の体験講習会を実施しています。講習会終了後は、当協会に入会し、競技を続ける参加者が多いのは嬉しい限りです。

日々の練習においては、とくに青少年の育成に力を入れています。毎年日本武道館で夏に開かれる「全日本少年武道なぎなた錬成大会」にも積極的に参加してきました。県大会での優勝者も出ており、子供達の活躍は協会活動の大きな励みとなっています。平成 24 年（2012 年）から始まる中学校での武道必修化により、なぎなた競技への理解と関心がさらに高まることを期待しています。

なぎなたは、年齢や体力に合わせて、年少者から高齢者まで楽しむことのできる生涯スポーツです。「礼に始まり、礼に終わる」といわれるなぎなたの武道の心を大切に、一層の発展を目指し、これからもしっかり取り組んでいきたいと思っています。



### 歴代役員

会 長	根岸 忠蔵	昭和 61 年～昭和 62 年
	長谷川清久	昭和 63 年～平成 4 年
	佐藤富士夫	平成 5 年～平成 11 年
	佐藤 光	平成 12 年～
理事長	小島 幸子	昭和 61 年～平成 3 年
	小川 澄子	平成 4 年～

